

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	47	学校名	仙台市立北仙台小学校	校長名	山澤 一郎
------	----	-----	------------	-----	-------

- 1 取組のタイトル、テーマ
地球に優しいサイクルを



2 取組の紹介

(1) 収穫野菜で作ろう

- ・特別支援学級の生活単元学習「収穫野菜で作ろう」の単元において、栽培活動で作ったさつまいもを使って、さつまいもご飯を作りました。朝の時間や休み時間に水やりを自主的に行い、自分たちで作った野菜に責任を持って、調理をしました。



～さつまいもご飯の作り方～

<さつまいもご飯作りの様子>

- ① 米をとぐ。
- ② 水を用意する。
- ③ さつまいもを切り、水につける。
- ④ さつまいもを水で洗う。
- ⑤ 炊飯器で炊く。

(2) おもちゃまつり

- ・2年生の生活科では、「うごく うごく わたしのおもちゃ」の中で身近にある段ボールや発泡スチロールトレイ、プリンカップを使って、おもちゃづくりに取り組みました。子供たちは「えっ、どうして」などと声を上げ、楽しく作成することができました。



<おもちゃまつりの様子>

(3) 「生まれかわったなかまたち」

- ・3年生の図画工作では、家庭にある使わなくなった靴下や手袋などを使った作品を作りました。
- ・古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表すことができました。使わなくなった物を利用して作品を作ることで、子供たちが使っていた頃の思い出を振り返る様子も見られました。



<生まれかわったなかまたちの様子>

3 取組の成果（児童生徒の変容）

- (1) 野菜の栽培と収穫の学習を通して、野菜に対する興味が高まりました。そのため、給食では苦手な野菜でも、誰かが作ってくれた野菜であり、できる限り食べてみようとして挑戦する姿が見られました。さつまいものツルを使って、リース作りをした成果もあり、食べられないところも何かに見えるのではないかと考えることもできるようになりました。
- (2) おもちゃまつりの活動を通して、「1年生や来てくれるお客様に対して、楽しんでもらいたい」という意欲を持ちました。そこから、楽しみたい遊びを思い描きながら、作るおもちゃを決めたり、教科書で作り方を確認したりして、身近にある物を使っておもちゃ（車やロケットなど）を作りました。また、ゴムや空気、おもり、磁石など、様々な仕組みで動くおもちゃ（車やロケットなど）でどのように遊ぶのかも考えました。当日は、1年生や保護者の方に楽しんでもらい、身近にある物を使って遊ぶことで、笑顔になることができました。
- (3) 「生まれかわったなかまたち」では、使えなくなったと思っていた物が再利用できるようになることに気付いている子供たちの姿が見られました。自分の作った物に愛着を持ち、使えなくなった物が生まれ変わることに気付くことができる有意義な体験になりました。